

全国の情報は国立感染症研究所感染症疫学センターホームページにてご覧ください。 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

#### 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

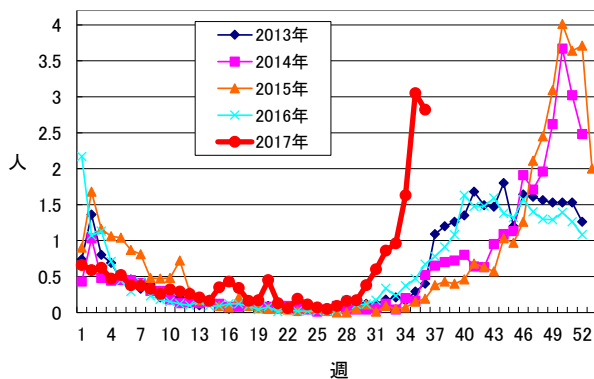
##### RSウイルス感染症

定点あたり患者数は今週 **2.82人**(先週 3.05人)と減少しましたが、例年より多い状況が継続しています。地域的には、姫路市、加古川及び洲本保健所管内で、定点当たり患者数が5人以上となっています。

直近の5週間に県内の定点医療機関から報告された患者1,201人の年齢分布では、1歳40%、0歳30%、2歳19%の順で、0~3歳が全体の96%を占めています。

RSウイルスを病原体とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ全員が感染しますが、その後も感染を繰り返します。乳幼児の肺炎及び気管支炎の重要な原因となっていて、特に心肺等に基礎疾患があると重症化しやすいといわれています。人混みを避けて、手洗いを徹底し、乳幼児が呼吸器症状を示した場合、は早めに医療機関を受診することが重要です。

RSウイルス感染症の定点あたり患者発生状況(県内)



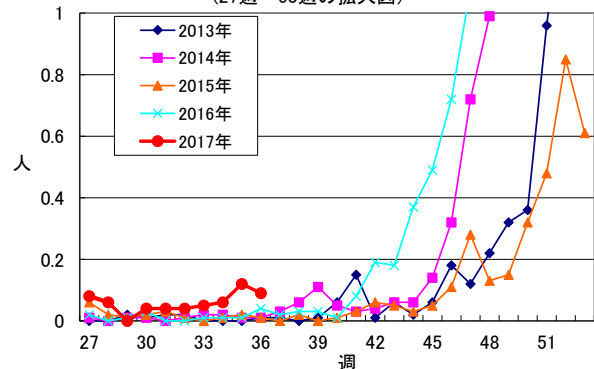
##### インフルエンザ

定点あたり患者数は、今週 **0.09人**(先週 0.12人)とやや減少しましたが、例年同時期に比べて患者数は多くなっています。

今週、県内の定点医療機関から17人の患者が報告され、地域的には、西宮市10人、宝塚保健所管内3人、神戸市2人の順となっています。また、年齢分布では、4歳以下と5~9歳が各5人、10~14歳が4人の順で、15歳未満が全体の82%を占めています。

当研究所では今シーズン、県内の患者から **AH1pdm09** 2件のインフルエンザウイルスを検出しています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)  
(27週~53週の拡大図)

#### 定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	4.36	4.24	+0.12	6位	咽頭結膜熱	0.38	0.44	-0.06
2位	RSウイルス感染症	2.82	3.05	-0.23		突発性発しん	0.38	0.43	-0.05
3位	手足口病	1.22	1.91	-0.69	8位	流行性角結膜炎	0.34	0.49	-0.15
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.90	0.74	+0.16	9位	流行性耳下腺炎	0.27	0.27	±0.00
5位	ヘルパンギーナ	0.72	1.02	-0.30	10位	水痘	0.18	0.25	-0.07

## 全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

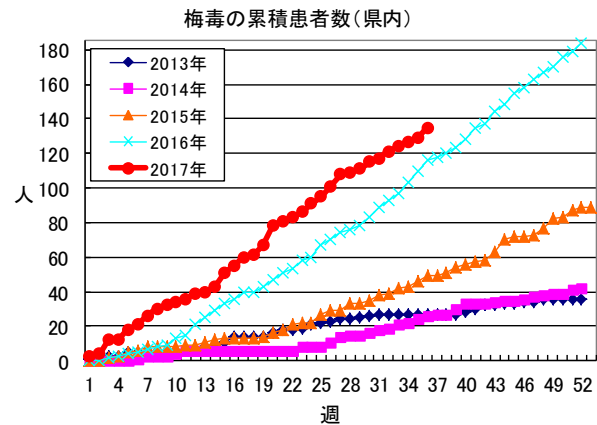
梅毒 

今週 6 人の報告があり、今年の累積患者数は 135 人となりました。性別では、男性 89 人、女性 46 人で、昨年の年間患者数（男性 143 人、女性 41 人）に比べて、女性の割合が多くなっています。

年齢階級別では、男女ともに 20 歳代と 30 歳代が多く、全体の 59% を占めています。

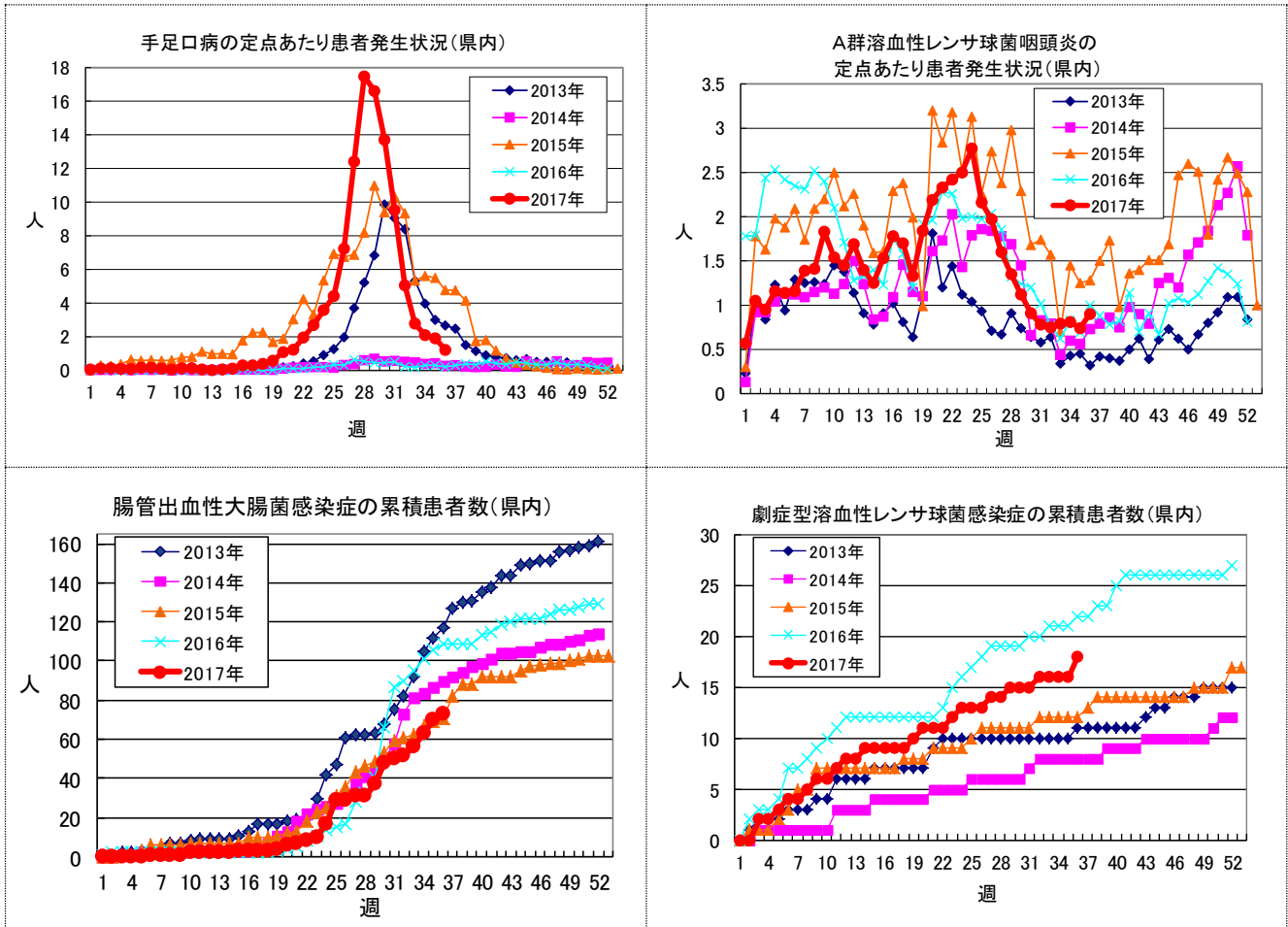
病型別では、早期顕症梅毒のⅠ期が 61 人、Ⅱ期が 40 人、晩期顕症梅毒が 3 人、無症状病原体保有者が 31 人となっています。

感染原因として、性的接触（異性間 102 人、同性間 9 人、不明 12 人）が計 123 人から報告され、感染地域はすべて国内でした。



1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	<b>結核 10人</b> (尼崎市 1人、姫路市 1人、明石保健所管内 3人、加東保健所管内 3人、赤穂保健所管内 1人、洲本保健所管内 1人)
3 類感染症	<b>腸管出血性大腸菌感染症 3人</b> (有症者 2人、うち HUS 0人) (①神戸市；男性 40歳代；O157 VT2；感染地域：兵庫県；感染経路：不明、②神戸市；女性 20歳代；O157 VT2；感染地域：兵庫県；感染経路：不明、③神戸市；女性 6歳；O111 VT1；感染地域：兵庫県；感染経路：不明) (累積報告数 73人；有症者 51人、うち HUS 2人) <b>腸チフス 1人</b> (神戸市；女性 9歳；感染地域：インド；感染経路：不明)
4 類感染症	報告はありません。
5 類感染症	<b>アメーバ赤痢 1人</b> (神戸市；腸管外アメーバ症；男性 40歳代；感染地域：国内；感染経路：性的接触) <b>劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2人</b> (①尼崎市；女性 90歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：創傷感染、②明石保健所管内；男性 70歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明) <b>侵襲性肺炎球菌感染症 1人</b> (姫路市；女性 80歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：飛沫・飛沫核感染；ワクチン接種歴：無) <b>梅毒 6人</b> (①神戸市；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 70歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、②西宮市；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 20歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、③西宮市；早期顕症梅毒Ⅰ期；女性 20歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、④加古川保健所管内；早期顕症梅毒Ⅱ期；男性 50歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、⑤赤穂保健所管内；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 20歳代；感染地域：国内；感染経路：性的接触、⑥赤穂保健所管内；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 30歳代；感染地域：国内；感染経路：同性間性的接触)
2017年第35週までに診断されたものの報告遅れ	<b>結核 2人</b> <b>梅毒 1人</b>

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。  
 また、<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html> から国立感染症研究所感染症疫学センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。